

県政を
身近に

あらい絹世の磯っ子レポート

県議会議員

「県有施設全廃を」 県緊急財政対策本部調査会 中間意見まとまる

神奈川県は平成24年度当初予算編成に際しても900億円もの財源不足が想定され、施策・事業の見直しや人件費の抑制、財政調整基金等の活用により財源を確保しました。しかし「中間財政見直し」によると今後2年間の財源不足が1,650億円に上がり、企業であれば「破たん寸前の状態」にあるとのことから法令や制度など行政のあり方そのものに踏み込んだ抜本的な見直しを行うため元総務大臣の増田寛也氏や日産自動車株式会社特別顧問の高橋忠生氏等外部有識者による「神奈川県緊急財政対策本部調査会（神奈川臨調）」が設置されました。

6月18日の第三回目の会では ①県有施設の原則廃止 ②市町村と団体への補助金の一時凍結と抜本的見直し ③教育のあり方についての再検討 ④人件費削減 の4つの課題への中間意見がまとめられました。社会福祉施設などは施設運営のあり方を精査し民間活力を導入し、県営住宅は県直営から民間賃貸借上げ方式などへ転換する。教育のあり方の再検討については政令市では教員の任命権と給与負担が一致していない「ねじれ現象」の解消などが挙げられています。

3月に第一回目が開催され、第三回目の今回に中間意見が、9月に予定されている第四回の会合で最終意見がまとめられます。来年度当初予算に反映させるため、わずか4回の会合での最終意見とりまとめとなるが、県有施設の廃止等は県民生活に大きな影響を及ぼすため、「結論ありき」ではなく県民へ丁寧な説明を行い、理解を得るべきと考えます。また、福祉施設などは民間施設では受け入れが難しい入所者を入所している施設もありその入所者たちの受け入れ先が無くなる可能性も出てきます。今回会合での意見はあくまでも意見であり今後県議会での議論が必要となってきます。財政難で沈みゆく「神奈川県」という船に県民一同が乗っていることを理解して貰い、県民生活の安全・安心を確保し生活の利便性を保ちつつ、無駄を削っていく必要があります。また、無駄を削るだけではなく歳入を増やすことが必要で、歳入を増やすための経済政策についても議会で検討していかねばなりません。

あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
- 平成23年4月 県議会議員初当選
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 厚生常任委員
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 社会問題対策特別委員
- ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走



日帰り旅行のご案内

— 新東名高速を走って、人気の「資生堂アートハウス」へ —

○ 日にち：10月21日（日）

○ 旅費：7,500円

磯子区内各地発 (7:00 発)	→	新東名高速道路	→	駿河湾沼津 SA でお買物
観光 (花咲乃庄/掛川市)	→	昼食 (さかな屋)	→	観光 (資生堂アートハウス・ 企業資料館)
東名高速道路	→	磯子区内各地着 (19:15 着)		

問い合わせ先：あらい絹世後援会事務所/堀川 TEL：751-5250

議会あれ？これ？

— 議会の招集 —

神奈川県議会の定例会の招集回数は年3回、会期日数は約200日となっています。22年までは年4回約100日でしたが、会期日数を増やし議会がほぼ一年を通して行われるようにしています。（長崎県や栃木県は会期をほぼ一年とする「通年議会」を導入しています。）地方自治法によると議会の招集は首長が行う事となっており、定例会以外で必要に応じて臨時会を開催する場合は、議長や議員の定数1/4以上の者が首長に対して臨時会の招集を請求することは出来ますが、議長など議員が議会を開催することは出来ません。一方首長は本来なら議会の議決が必要な事項を議会に諮らず自分で決めることが出来ます。それを「専決処分」と言います。休会中に補正予算が組まれた場合、専決処分で行われていますが、長崎県や栃木県のように通年議会にすれば議長が何時でも議会を招集することが出来、専決処分することなく議会で審議出来るようになります。

次回の
お題は 「虫」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。

- ・匿名、イニシャルで結構です。
- ・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
- ・お申し込みは FAX で
(締め切りは8月27日です)
- ・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

時節の川柳大募集



先月のお題は「海」
沢山のご投稿有り難う
ございます

海のように
心のひろい
彼見つけ 森二丁目

海開き
慌ててはじめる
ダイエット丸二さん

大物か？
地球を釣って
大若戦 とくさん